

つながることでひらく学校

小規模特認校を支える育友会の視点

第69回金沢市PTA研究大会・石川県PTA特別地区研究指定発表会

令和7年度金沢市立医王山小中学校育友会
(金沢市PTA協議会指定)

全校生徒数82名のうち約86%が 校区外から通学する 小規模特認校 金沢市立医王山小中学校はココにあります

本発表では
私たちが次世代に継承したい
医王山のさまざまな「つながり」を
ご紹介します



金沢市立医王山小中

学校経営方針

教職員、保護者、地域が
『チーム医王山』となり(中略)学校を創りあげる



小学校校章
桜の花の中に「医王」の旧字体
周囲に「山」を配している

薬草萌ゆる医王山 山の姿のうるわしく
美田潤す豊吉の 川の瀬音のさやけしや

医王山小中学校校歌より



中学校校章
山とトンビを模した生徒公募による図章
郷土を愛し鳶のように羽ばたけという願い

明治31年 医王山尋常小学校設立

各村の小学校を統合し、医王山村立医王山尋常小学校設立。
児童生徒数332名。

医王の自然あふれる学舎

明治34年	校庭に桐20本、杉70本を植樹
昭和29年	運動場周辺、同窓生による桜の記念植樹
平成3, 6年	全国緑化コンクール受賞

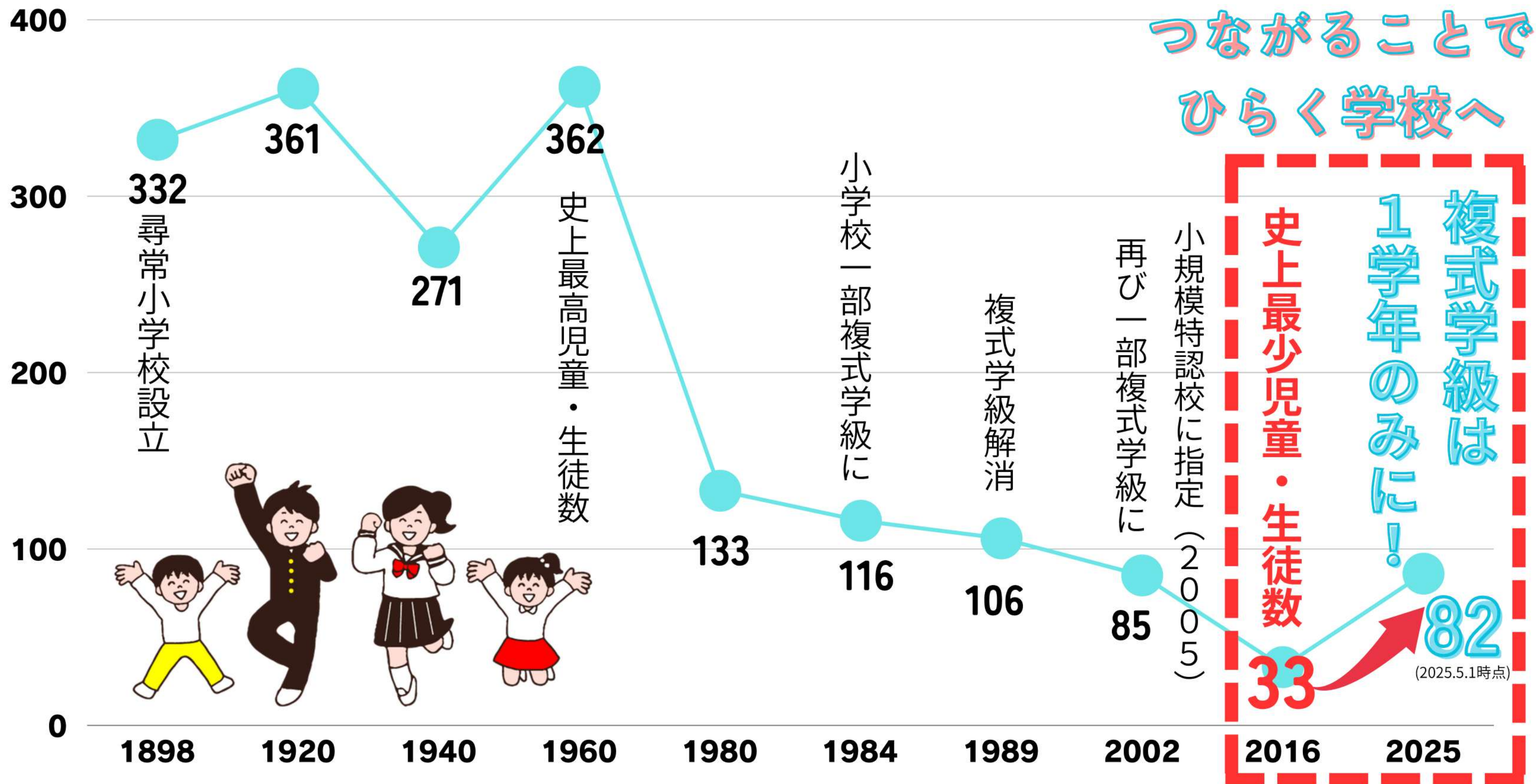
地域で守り育ててきた学舎

明治31年 家庭の寄付により校庭が整備される
昭和11年 地域の人々による学校坂道改修工事
暴風、豪雨、雪害などの災害による被害を
地域とともに乗り越え、学校を存続させてきた

ピアノの搬入、体育館など学校施設の整備に
ともない、文化活動や課外活動の充実化が進む

山とともに生き、伝統を守り
この土地の暮らしと文化を守り育ててきた
世代をつなぐ象徴としての学校

金沢市立医王山小中学校 児童・生徒数の変遷



小規模特認校とは？

自然環境に恵まれた小規模の小学校や中学校を小規模特認校として金沢市教育委員会が認定し、通学区域を弾力化して、**金沢市内在住の児童生徒が本来の通学区域にかかわらず自由に入学・転学申し込みができる**ようにする制度。

医王山小中学校は2005年、金沢市により小規模特認校認定を受けています。

恵まれた自然の中で、心身の健康増進を図り、豊かな人間性を培いたいと保護者や児童生徒が希望する場合には、通学や生活指導面などにも配慮の上で、いつでも、どの学年からでも入学・転学をすることができます。



特認生受入の
流れはコチラ



つながることで
ひらく学校へ①

校区外とつながる／広報活動



子育て支援メッセいしかわ2016

ブース出展

ステージ出演

その他コーナー

ブース出展

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

37 医王山小中学校育友会

金沢市立医王山小中学校育友会の活動と、金沢市内であればいつでも転校できる制度の小規模特認校の説明や申し込み手順などを紹介します。

連絡先

医王山小中学校育友会

〒920-1102 金沢市二俣町さ21 医王山小中学校内

電話: 076-236-1013

URL: <http://iouzen.arunke.biz/>



出展内容

金沢市立医王山小中学校は小規模特認校です。

小規模特別認定校とは？

自然環境に恵まれた小規模の小学校や中学校を小規模特認校として教育委員会が認定し、市内在住の児童生徒が、本来の通学区域に関わらず自由に入学・転学の申し込みができる制度です。

育友会として広報に力を入れた時期も。
まずは医王山小中学校という存在を知ってもらうことが必要。
店舗にチラシを置いてもらい、
子育てメッセにも出店。
努力が実り見学の子ども達が増加。



つながることで
ひらく学校へ②

校区外とつながる/通学バス・学童



小規模特認校の良さはわかるけど
山への送迎は大変...放課後はどうするの？

通勤途中のバス乗り場まで
バス送迎があることが、
医王山小学校に入学を
決めたポイント！

バス停までの子ども
との会話が大切な
時間になっています



医王山福祉会による通学バス・学童運営が 「足回り」の不便さによるネックを解消！

✓地元の方が資金を出し合い中古のマイクロバスを購入、
社会福祉法人医王山福祉会による通学バスの運用が始まる

✓現在、「ささゆり1号」「ささゆり2号」「エスティマ」の3台が
朝・夕の通学を助けている
夏休み・冬休み・春休みの学童にも対応！



✓金沢市では、通学方法にかかわらず遠距離通学への支援として補助が支給される
※1kmにつき28円、最大往復10km＝280円/日(年間限度額は61,000円)

✓学校敷地内に学童「医王っ子クラブ」があり、小学校1年生から6年生までの
のびのびと放課後の時間を過ごしている



つながることで
ひらく学校へ②

校区外とつながる / 通学バス・学童

自宅が医王山の隣山にあるが、家から5分ほどのところまで来てくださる。送り向かえだと大変だったので、今はバスがあるから通える。

運転手さんも気さくで、優しくてほっとする。いくら感謝しても足りないくらいです。



福祉バスを利用して7年目です。

地域の方々がボランティアで送迎して下さり大変助かっています。

中には「〇〇さんのおじいちゃん」等、お友達のご家族もいらっしゃって、子ども達にとって親しみやすく安心して利用できています。

医王山小中学校は山手にありますが、中心地から学校まで除雪が入っているので冬場でも安心です。



つながることで
ひらく学校へ②

校区外とつながる / 通学バス・学童

小中学生が同じバスなので、学年を超えたお友達とバスの中でおしゃべりが弾み、とても楽しいそうです。またスクールバスを運転する地域の方々が毎日気さくに話しかけてくださるおかげで、人見知りの娘も、自分から「おはようございます」と挨拶できるようになりました。



運転手さんたちの子どもを見守る目が優しく、まるで子育ての心強いパートナーのよう。朝の学校到着時、先生方、運転手さん、子どもたちが笑顔で「おはようございます」を言う姿は微笑ましく、この学校の良さが詰まった瞬間だと感じています。

学童の先生にも
聞いてみました！

大自然に囲まれた中で元気いっぱいに遊べます！
少人数なので学年をこえて仲良く過ごせるのも魅力。ゆったりとした時間の中で、宿題を教え合いながらみんなで成長できるところが良いところです。



遠距離通学を支える通学バス・学童は
地域・子ども・保護者をあたたくつなぎ合う場にもなっている

つながることで
ひらく学校へ③

子どもと子どものつながり / 小中併設校としての強み

医王山小中学校のもう一つの大きな特徴、それは「**小中併設校**」であること。

娘は中学校から医王山中に入ったのですが、
よく小学生がかわいいと言っており、
存在に癒されて頑張る原動力になっているようです。
親しくなった子を見かけると声をかけたり、
スクールバス内では学年を超えておしゃべりや
言葉遊びで盛り上がったりしているそうです。
最近、同学年にはいなかった同じ趣味をもつ
下級生の子がいたと、うれしそうに報告してくれました。
小中併設校であり、小規模特認校で施設も共有している分、
学年を超えて濃い友達関係ができるのが強みではないかな、
と感じています。



つながることで子どもと子どものつながり / ひらく学校へ③ 小中併設校としての強み

みんなで清掃してプール開き



小中合同運動会



小学校1年生の最初のプールの授業を6年生がサポートしてくれることに驚きました。
また、合同運動会は、小学生が中学生を「がんばれー！」と応援したり、小学1年生のかわいらしいダンスを中学生が応援席で真似していたり、異年齢で活動し、お互いを支え合うことが「当たり前」であることに驚かされています。

つながることで子どもと子どものつながり/ ひらく学校へ③ 小中併設校としての強み

先生方にも
聞いてみました！

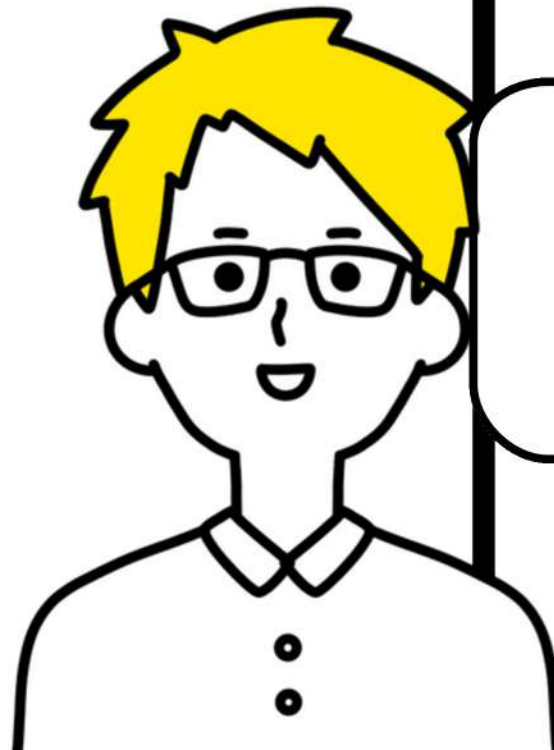
小中併設校としての強みはたくさんありますが、その中でも特に、**小中あわせた教職員全員で9年間の成長を通して児童生徒を見守れる**ため、個々の特性や課題を理解しやすく、**きめ細やかな支援**ができるということが大きいです。多様な子どもに応じた支援や、学習指導、体験活動ができており、学習面でも充実したサポートができていていると感じています。

また、小中連携した学校行事では、**小学校、中学校がともに行うことで、それぞれの発達段階に応じた成長が常に感じられ、よい刺激となっています。**

さらには、地域に支えられている学校として、学校と地域の連携が一本化され、地域行事などが世代を超えて行いやすくなっていると実感しています。

中学校の先生が小学校の教科を教えてくれたから、中学校になっても自分を知っている先生に教えてもらえる。
自分の事をわかってくれている安心感がある。

卒業生Sくん



なぜ、医王山を選んだのですか？



地元の小学校では高学年の時、不登校、保健室登校でした。「教室で授業を受けたい」という子どもの意見を尊重し、医王山小学校を見学、体験しました。体験は4週間、聞いた時は長いと思いましたが、体験してみると丁度良い期間だと感じました。子ども自身馴染めるか心配していましたが、**クラスメイトに限らず、他の学年の児童・生徒も話し掛けてくれて**いろいろな関わりがもてました。

少しずつ自分らしさを出すようになり、笑顔が多くなりました。何より子どもが通いたいと言うので、医王山小学校に転校することを決めました。良い変化を下の子も感じたようで「医王山小学校見てみたい！」と。同じように見学、体験を経て、下の子も医王山小学校に転校することにしました。

今では上の子は中学生ですが、併設校ですので、下の子と学校の話で毎日とっていいほど盛り上がっています。今年の夏休みは「**早く夏休みが終わってみんなと授業受けたい！**」と話していました。不登校や保健室登校の時は、こんな未来がくるとは思ってもみませんでした。

時にはけんかもありますが、**自分も相手も尊重し丁寧に接している様子**が感じられる医王山小中学校です。

近くの保育園が満杯で、医王山地区のみずほ保育園に入園したのがきっかけ。**地域の方が温かく、人の温度が感じられる地域**だったことから、特任校に誘われて、そのまま入学。少しのんびりした子どもだったので、**少人数の学習が大助かり。**高校受験も難なくクリアしました。**個性をそのまま認めてくださる雰囲気**に大変感謝しています。

つながることで ひらく学校へ④

つながりを次世代につなげていくために できること/育友会役員負担の軽減

会長は独りじゃない！副会長多人数体制

会長負担軽減のため副会長を多めにおく体制に
4年前には校区外から通う親が育友会長に！



育友会実行委員会（役員会）のオンライン参加

遠方通学の保護者が、自宅などにいながら
育友会実行委員会にリモート参加できるように

広報誌を廃止、クラウドでの写真閲覧に

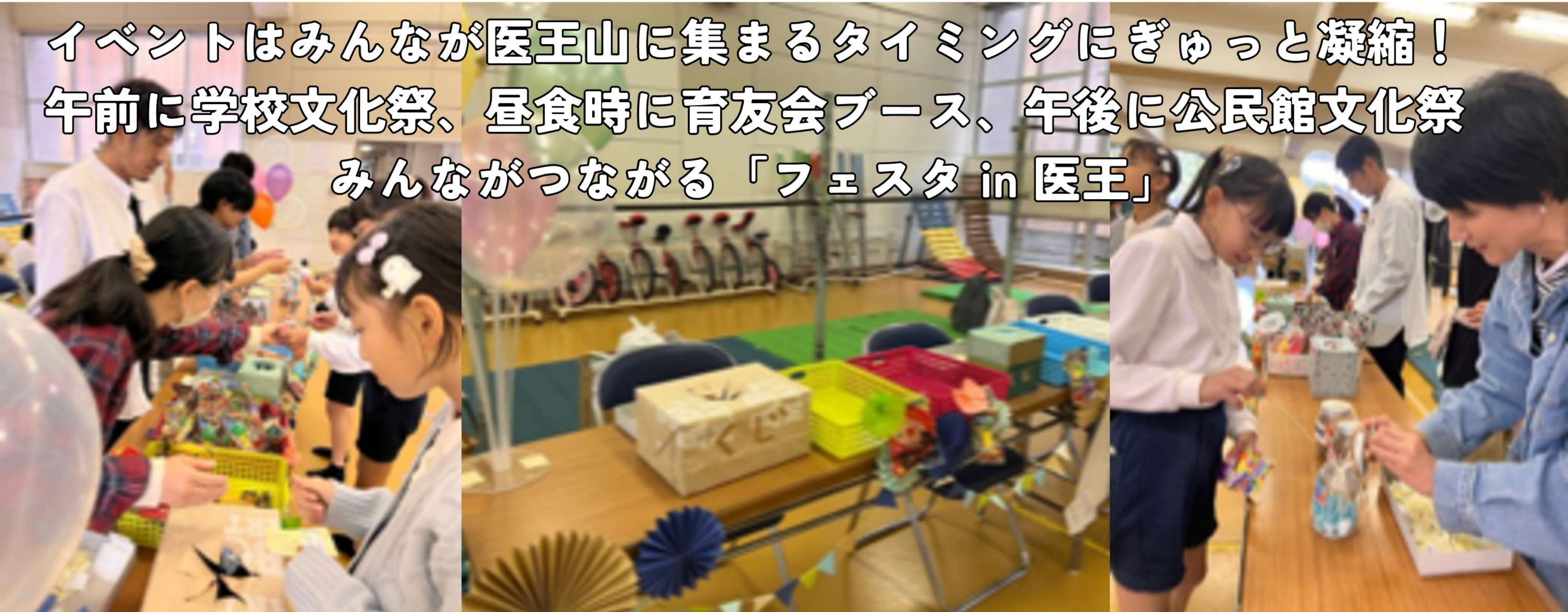
広報誌を廃止し、児童・生徒が持ち帰る
Chrome bookにて広報が撮影した写真を
閲覧できるように



つながること ひらく学校へ④

つながりを次世代につなげていくために できること/育友会役員負担の軽減

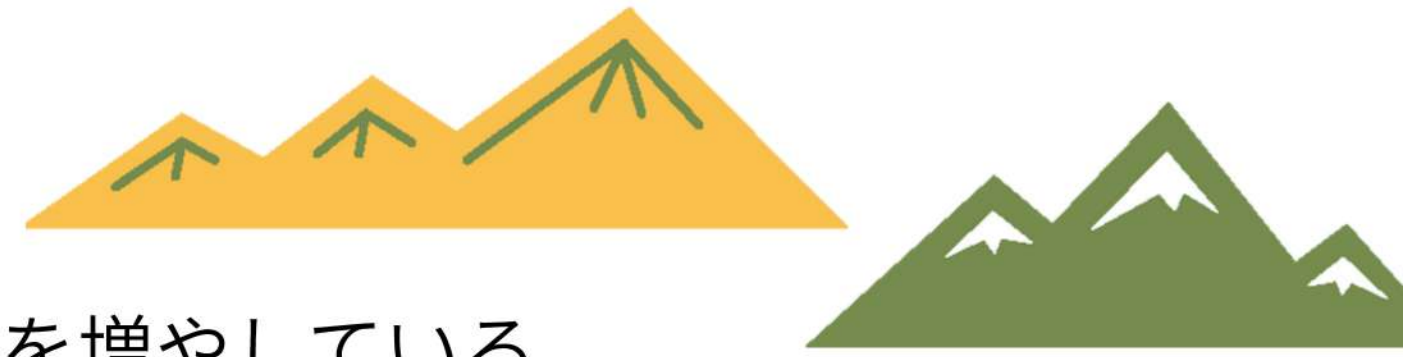
イベントはみんなが医王山に集まるタイミングにぎゅっと凝縮！
午前に学校文化祭、昼食時に育友会ブース、午後に公民館文化祭
みんながつながる「フェスタ in 医王」



コロナ前はカレーを作っていましたが、保護者負担を減らすため、毎年柔軟に違う形に。
準備のために集まるのはナシ！実行員会数回で出来る範囲で行えるような形にしています。

つながることで つながりをつなげていくために ひらく学校へ④ できること/フェスタ in 医王での取り組み

「学校と地域がつながるイベントがしたい！」という思いのもと、150周年式典の際には「学校探検スタンプラリー」を開催。2024年は『家族で冒険王』、2025年はスポーツイベント行う予定。校区外の方が医王山地区を歩いたり、地域の方々と関わる取り組みを増やしている。



150周年記念 フェスタ in 医王開催のお知らせ

主催：医王山小中学校育友会

暑い夏がようやく過ぎて、秋の香りがしてきましたね。みなさまいかがお過ごしでしょうか？医王山小学校は、今年度150周年を迎えます。地域の皆様・学校様のご協力を得て特設校として、たくさんの子供達が医王山で豊かな時間を過ごしています。150年、医王山小学校が歩んで来られた事に育友会一同、感謝しております。ありがとうございます。

感謝とお祝いの気持ちを込めてささやかなお祭りを企画いたしました。学舎である小学校と中学校の教室をお借りして、クイズやくじなどをしながら校内を巡る「学校探検スタンプラリー」を開催します。地域の方、保護者の皆様、子ども達がいっしょに学校内を歩き楽しむことが目的です。子どもも大人も楽しめるように景品やお菓子ををご用意しています。最後には医王山公民館にもご協力いただきお遊会を開催します。この機会に、みなさんと楽しい時間を過ごし、150周年をお祝いしたいと思います。奮ってご参加ください。

日時：10月22日 日曜日

・文化祭及び150周年記念式典後

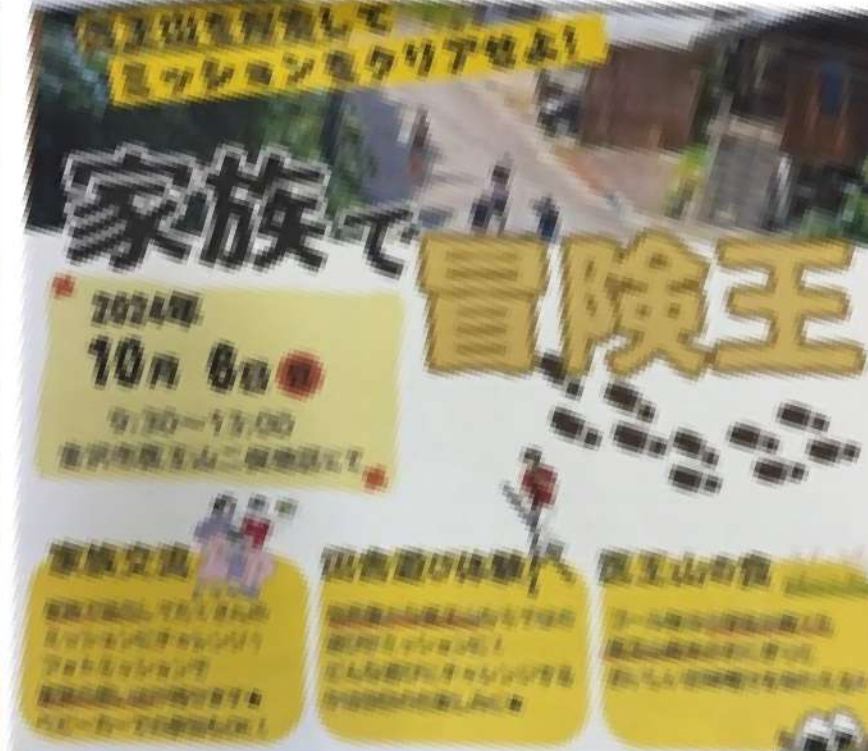
時間：14時10分～15時半

場所：体育館及び学校内（1階2階）

内容：・学校探検スタンプラリー

・抽選会（地域の方 小中学校児童生徒全書）

※一家族一枠の参加となります。



つながることで つながりをつなげていくために ひらく学校へ④ できること/新しいつながりを生み出す



■いおうぜん親カフェとは

「いおうぜん親カフェ」は医王山小中学校の育友会が主催する親の会です。我が子が不登校、もしくは元不登校という保護者を中心としたメンバーで開催しています。当事者でなくても、興味がある、お友達が不登校で悩んでいる、といった方でも参加できます。

お子さんの気持ちが学校へ向かない、家族以外の人との接点が少なくなった、そんな中で、暮らしに不安やしんどさを感じておられますか？誰かに聞いてもらったり、誰かのお話を聞いたりすることで、心が軽くなったり、答えが見えてきたりすることもあります。お茶やお菓子をいただきながら、一緒にゆっくり時間を過ごしませんか？

■スタッフからのメッセージ

「学校に気持ちの向かないお子さんも、そのご家族も、みんな幸せであってほしい。豊かな育ちと一緒に願いたい。」そんな思いを持っています。悩みや不安、未来への希望、そして、とりとめない世間話……一緒に話しましょう。ちょっと気持ちがやわらかくなる。そんな時間になるとよいなと思っています。

<対象>

医王山小中学校保護者

(校外の方の参加については、
お問い合わせください)

<お茶会>

日時：奇数月の第3木曜
15時30分～17時

場所：医王山公民館
(金沢市二俣町 6-14-9)

<オンライン座談会>

日時：偶数月の第3金曜
20時～21時

方法：Google meet

(メールにて招待リンクをお送りします)

※開催日はスタッフの都合により
変わる可能性があります。具体的
な開催情報は、毎回学校からの
一斉メールにてお知らせします。

<問い合わせ先>

お気軽にご連絡ください。

いおうぜん親カフェ

小規模特認校である医王山小中学校には不登校の経験をもつお子さんが転入されるケースも。親どうしのつながりの場を提供し、お子さんへのサポートへつなげる取り組みが育友会主催でスタート。

ほか、令和7年度育友会実行委員会では
校区内、校区外のつながりを生み出すための
取り組みを模索しています

『チーム医王山』のひとりひとりが
無理せずできる範囲で

つながっていただけることを願って

おわりに

医王山小中学校は自然豊かは医王山地区にあり、無形文化財いやさか踊り、紙漉きなどの伝統が残る町で、地域の方々の学校を守る思いから、小中併設校であり、小規模特認校に認定されています。

地元から通う子供達が少なくなる中、自然豊かな小さな学校で少人数の学校で学びたいという子供達が、金沢市内から多く来てくださっています。

地元から通う親が育友会役員を占めていたのですが、徐々に校区外からの児童も増え、4年前から校区外から通う親が育友会長をするようになりました。近年では、広報誌を廃止し、Chrome bookにて広報が撮影した写真を閲覧できる形にしたり、実行員会をオンラインで行うことで学校に来なくても良い形に変えたりと、校区外からの育友会参加に負担がかからないように模索しています。

この度の発表が、「医王山小中学校」という存在をより多くの方に知っていただき、さらなる「つながり」のきっかけになることを育友会一同願っています。

医王山小中学校育友会長 小又 勇三